

## 自己評価報告書

平成23年4月1日現在

機関番号：22604

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2009～2012

課題番号：20402030

研究課題名（和文） 東北アジアにおける金融インフラストラクチャーの歴史的構造

研究課題名（英文） Historical Structure of Financial Infrastructure in the Northeast Asia

研究代表者 矢後 和彦

（首都大学東京・大学院社会科学研究所・教授）

研究者番号：30242134

研究分野：経済史

科研費の分科・細目：経済史

キーワード：金融史、国際銀行業、東北アジア、露清銀行、露亜銀行、ロシア極東

## 1. 研究計画の概要

本研究は、19世紀末から20世紀中葉にいたる時期の東北アジアを対象として、当該地域における金融インフラストラクチャーの歴史的構造を経済史の視点からあきらかにする。ここで「東北アジア」とは、ロシア極東、中国東北部、朝鮮半島、日本を中心とする広域をさし、「金融インフラストラクチャー」とは、銀行制度、決済慣行、貨幣流通をはじめ、およそ金融システムが機能するための社会的・経済的諸条件を意味する。本研究は、当該地域の金融史を直接にあつかいながらも、同時に国際金融システムとの連関を追求し、以って東北アジアにおける金融システムの世界的位置を展望しようとする。

## 2. 研究の進捗状況

(1) 本研究の中核的な対象となる露清銀行（1896年創業、1910年改組）・露亜銀行（1910年創業、1926年破綻）の経営史につき、ロシア現地のアーカイブ所蔵一次資料にもとづく検証をおこなった。研究方法としては、銀行内一次資料をもとに銀行の統治構造、決済業務、支店展開、利益処分等を包括的に明らかにした。その成果を2009年に開催された国際経済史会議（World Economic History Congress）大会にて発表した。

(2) 上記の銀行経営史の背景としてロシア極東と中国東北部を結ぶ貿易決済の問題領域が浮かび上がってきた。そのため2011年2-3月にロシアに出張し、露清銀行の上海支店・漢口支店の資料を獲得した。研究方法としては銀行内帳簿資料を基礎に、為替勘定の仕向・被仕向関係を抽出するアプローチを採った。

(3) 本研究の焦点となる金融インフラスト

ラクチャーについて、交通・通信手段の発展とのかかわりをあらたに検討した。シベリア鉄道・中東鉄道・アゾフアジア鉄道敷設と銀行・金融業務のかかわりが課題となった。

(4) 上記の露清銀行・露亜銀行のアジアにおける後継となる極東銀行（1922年創業）について、一次資料にもとづく検討を開始した。同行については、貸借対照表の分析をふまえた英文の論文を執筆した。

(5) 東北アジア金融史を世界的に位置づけるべく20世紀の国際金融システムについて俯瞰する作業をおこない図書を刊行した。

## 3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。資料収集が順調に進展し、資料の分析をふまえた成果発表も国際学会報告を含めて着実に進展している。最終年度は成果のとりまとめにむけて注力できる素材が出揃っている。

## 4. 今後の研究の推進方策

2011年に獲得した資料をもとに、支店業務の実態を詳細に解明し、この結果を2010年までにあきらかにした銀行業務の全体像に位置づける。あわせて東北アジアの広域、さらには当該期の国際金融の包括的な歴史像を呈示し、本研究のとりまとめをおこなう。なお成果のとりまとめに際しては国際比較の視点を導入し、国際的な研究会議を組織する予定である。この研究会議の成果は2012年に開催予定の国際経済史会議大会で発信していく所存である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計1件)

① Kazuhiko YAGO, “The Anatomy and Pathology of Empire: Three Balance Sheets of Russian and Soviet Banks”, in *Slavic Eurasian Studies no. 22 (Comparative Imperiology)*, Slavic Research Center, Hokkaido University, 2010, pp. 61-86. 査読無

[学会発表] (計2件)

① Kazuhiko YAGO, “Banque du Japon dans le système monétaire international” (フランス銀行シンポジウム Colloque “Les banques centrales à l’échelle du monde”、招待講演、2009年11月27日)

② Kazuhiko YAGO, “The Russo-Chinese Bank (1896-1910)” (国際経済史会議大会 International Economic History Congress、口頭セッション報告、ユトレヒト大学、2009年8月7日)

[図書] (計2件)

① Kazuhiko YAGO, “La BRI et le système monétaire international (1944-1958): la diagonale de Per Jacobsson”, in *L’Economie faite homme, hommage à Alain Plessis*, Olivier Feiertag et Isabelle Lespinet-Moret, dirs., Droz, 2010, pp. 165-190.

② 矢後和彦 『国際決済銀行の20世紀』、蒼天社出版、1-289頁+60頁 (2010年3月)